

平成 25 年6月5日

各 位

会 社 名 株 式 会 社 ア ル バ ッ ク  
代 表 者 名 代 表 取 締 役 執 行 役 員 社 長 小 日 向 久 治  
(コード番号:6728 東証一部)  
問 合 せ 先 経 営 企 画 室 広 報 ・ I R 室 長 臼 見 隆 行  
(TEL. 0467-89-2033 大代表)

## 中期経営計画の策定に関するお知らせ

当社は、この度中期経営計画を策定いたしましたので、下記のとおりお知らせいたします。

### 記

#### 1. 中期経営計画策定の背景

平成 25 年6月期においては液晶・半導体を中心に顧客の投資が減少または延期されたことなどにより、予想に比べ売上高が減少する見込みとなりました。昨年(平成 24 年)策定した「事業構造改革プラン」を遂行することにより、営業利益、経常利益とも黒字化は達成する見込みですが、予想比減少する見込みとなりました。

こうした状況の中、より確実・安定的に利益を出せる体制を確立するため、事業構造改革をさらに推進するとともに、今般、その指針となる中期経営計画を策定したものです。

#### 2. 計画期間

2014 年6月期 ～ 2016 年6月期

#### 3. 中期経営計画における基本方針

|                                      |
|--------------------------------------|
| 確実・安定的に収益確保できる体制の確立<br>→ 成長への投資余力を確保 |
|--------------------------------------|

##### (1) 損益分岐点売上高の引き下げ

▶ 受注減少時にも確実・安定的に収益の確保ができる体制を構築

##### (2) 不採算事業の見直し

▶ 製品毎の採算管理の徹底

##### (3) 価値創造型ビジネスモデルの再構築

▶ 真空技術を核として『付加価値』を高める仕組みを再構築することで、顧客満足度を高め、収益体質・財務体質強化を目指す

◆ 製品の付加価値を高めるため、

- ・ 顕在、潜在ニーズに応え得る革新的、先進的な技術開発で顧客の様々な課題を解決
- ・ 納入時の早期安定稼働、不良化比率極小化サポート、アフターサービス等を徹底
- ・ 変動費、固定費などの聖域を作らず戦略的にコスト削減を徹底
- ・ 業界、地域などターゲット及び戦略を明確化し、マーケティング力、販売体制を強化

- ◆開発要素の高い案件については、受注検討段階での技術的リスクの洗い出しを徹底するとともに、収益面、財務面を含めたリスクシナリオ・対応策を十分検討のうえ経営判断

#### 4. 推進施策(事業構造改革)の概要

中期経営計画を推進するため、下記施策を実施

- ① 開発戦略
- ② 営業戦略
- ③ コスト競争力強化
- ④ 経費削減
- ⑤ 利益計画
- ⑥ 人事制度改革
- ⑦ スリム化
- ⑧ 業務改革
- ⑨ リスクマネジメント
- ⑩ グループ経営管理

#### 5. 目標数値(連結ベース)

|       | 2014年6月期(初年度) | 2016年6月期(最終年度) |
|-------|---------------|----------------|
| 受注高   | 1,800億円       | 2,050億円        |
| 売上高   | 1,800億円       | 2,050億円        |
| 営業利益  | 90億円          | 170億円          |
| 経常利益  | 70億円          | 140億円          |
| 当期純利益 | 40億円          | 110億円          |

以 上

なお、詳細を当社ホームページに掲載しておりますので、ご参照下さい。

(注)本資料には、当社の計画、数値目標などが含まれておりますが、これらは、現時点で入手可能な情報に基づき判断した計画、数値目標であります。実際の業績等は、業況の変化等により上記計画、数値目標とは大きく異なる場合があります。